

チリ地震

被災地訪問の報告

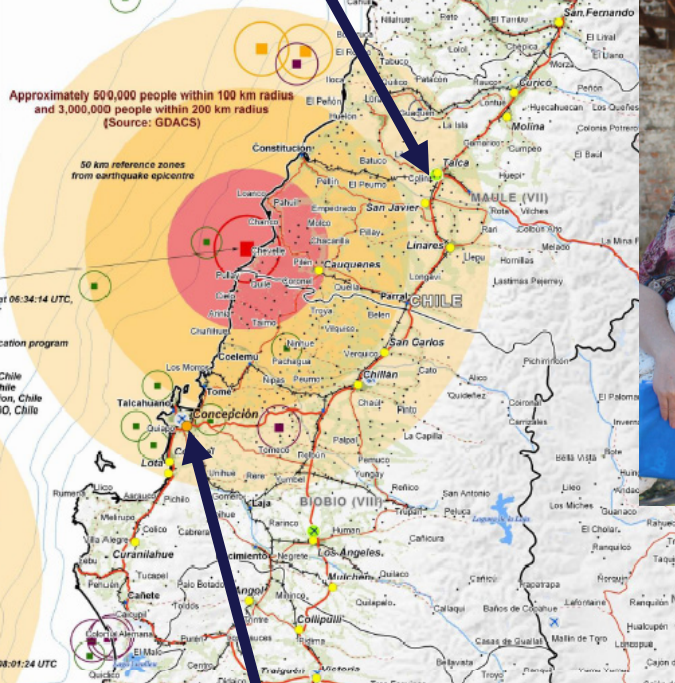
2010年3月8～11日(地震発生約10日後)

訪問地 (チリ地震被災者支援)

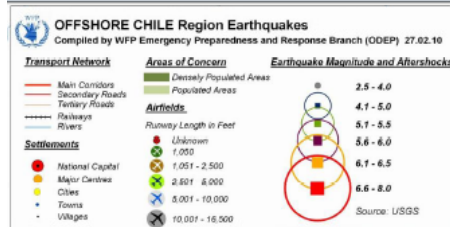


首都: サンティアゴ

被災地: タルカ



被災地: コンセプション



被災者の声 (チリ地震被災者支援)



Alejandraさん(写真中央。タルカの老人施設の代表)

どうもありがとう。チリと日本は地球の反対側なので距離は遠いけれど、想いは近くにあると感じました。

“Distance is very far, but our heart is very close!”



Humbertoさん(タルカの老人施設の事務局長)

[震災前には自分のオフィスだった部屋を案内しながら]

自分の家族も被災していて、とても辛いです。

けれどこの施設に入居している老人たちも見捨てることはできません。

施設で働くスタッフや若者ボランティアの仲間と一緒に私は頑張っています。

遙か遠くにいる日本の人々がチリの被災者をサポートしてくれていると聞き、

仲間の輪がもっと広がった気がして励まされました。

※ タルカの老人施設の様子

余震による倒壊の恐れがあるため入居する老人は建物に入れず、シートを屋根代わりにしたただけの中庭にベットを並べて生活していた。



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)



被災者の表情 (チリ地震被災者支援)

